



地域国際化協会 連絡協議会の活動

全国五九の都道府県・政令指定都市に設置されている地域国際化協会は、相互連携と情報交換を通して地域レベルの国際化に寄与するため、地域国際化協会連絡協議会(以下、協議会)を設置(平成二年七月発足、事務局は当協会)している。以下では、平成一四年度及び一五年度事業を中心に協議会の活動を紹介したい。

(財)自治体国際化協会調査部連絡調整課



地域国際化協会 職員研修の実施

地域国際化協会の職員を対象に、事業実施のノウハウ習得や直面する課題の検討、情報交換を行うとともに、職員間のネットワークの形成を図っている。

○国内研修

平成一四年度：講演会(講師：西原鈴子東京女子大学教授)、課題別ワークショップ(地域国際化協会と行政の役割分担、スタッフツアー、国際理解教育、医療通訳の四課題)
平成一五年度：内容を充実するため、地域国際化協会職員で構成する情報共有化委員会においてプログラムを検討する。

○海外研修

平成一四年度：ベトナムを訪問し、国際協力事業団(JICA)のODA活動や、現地に拠点を置くNGO及び現地の団体をカウンターパートとして活動するNGOを視察し、関係者との意見交換を行った。



情報共有化の推進

平成一五年度：東南アジアを対象に国際理解教育の教材づくりを体験するスタッフツアーの実施を計画している。

○地域国際化協会ダイレクトリーの作成

全国五九の地域国際化協会の組織、主な事業活動を網羅したダイレクトリーを作成し、都道府県・政令指定都市と各地域国際化協会等へ配布している。特に今年度は、従来からの冊子に加えて、ホームページへの掲載を計画している。

○多言語生活情報の作成

平成一四年度に、九言語に翻訳した在住外国人のための生活情報(一般編、すまい編、医療編、多言語相談窓口編)を作成し、ホームページに掲載している。平成一五年度は、法律・制度の改正等に伴う更新や修正を行う。

(URL: <http://www.clair.or.jp/tagengo/>)



地域ブロックへの支援

○メーリングリストによる情報交換
地域国際化協会が構成するメーリングリストを活用することにより、地域国際化協会の各地区ブロック会議の開催状況などの情報交換や地域の課題に対する意見交換などを効率的に行っている。

○標準訳語集の作成

平成一五年度の新規事業として、各地域で行う在住外国人のための多言語情報の翻訳事業を支援するため、翻訳の際の基準や標準的な訳語集(全国汎用版)を作成する。

地域国際化協会は、全国六つのブロックで地区連絡協議会を設置している。協議会は、地域ブロックの活動を支援するため、地区連絡協議会を対象に交付金の交付や有益な全国情報の提供などを行っている。